

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質					0.40			2.8	
Q1 室内環境								2.6	
1 音環境				1.8	0.15			1.8	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40				
1.2 遮音				1.0	0.40				
1 開口部遮音性能				1.0	0.95				
2 界壁遮音性能				1.0	0.05				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音				1.0	0.20				
2 温熱環境				2.4	0.35			2.4	
2.1 室温制御				2.6	0.50				
1 室温				3.0	0.50				
2 外皮性能				1.0	0.17				
3 ゾーン別制御性				3.0	0.33				
2.2 湿度制御				1.0	0.20				
2.3 空調方式				3.0	0.30				
3 光・視環境				3.0	0.25			3.0	
3.1 屋光利用				3.0	0.56				
1 屋光率									
2 方位別開口									
3 屋光利用設備				3.0	1.00				
3.2 グレア対策									
1 屋光制御									
3.3 照度									
3.4 照明制御				3.0	0.44				
4 空気質環境				3.0	0.25			3.0	
4.1 発生源対策				3.0	0.50				
1 化学汚染物質				3.0	1.00				
4.2 換気				3.0	0.30				
1 換気量				3.0	0.50				
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50				
4.3 運用管理				3.0	0.20				
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50				
2 喫煙の制御				3.0	0.50				
Q2 サブシス性能					0.30			3.0	
1 機能性				3.0	0.40			3.0	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40				
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画				3.0	1.00				
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30				
1 広さ感・景観				3.0	0.35				
2 リフレッシュスペース				3.0	0.29				
3 内装計画				3.0	0.35				
1.3 維持管理				3.0	0.30				
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50				
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50				
2 耐用性・信頼性				2.8	0.30			2.8	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20				
2.4 信頼性				2.4	0.20				
1 空調・換気設備				1.0	0.20				
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20				
3 電気設備				3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20				
5 通信・情報設備				3.0	0.20				

3 対応性・更新性			3.3	0.30		-	3.3
3.1 空間のゆとり			4.2	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高4.0以上	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				0.30		-	2.9
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							2.9
LR1 エネルギー				0.40			3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPIM=0.42	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEU][BEIm] = 0.78	3.4	0.50		-	3.4
4 効率的運用			2.0	0.20		-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50		-	
集合住宅の評価							
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
LR2 水・エネルギー				0.30			2.6
1 水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60		-	2.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1	消火剤						
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				0.30			2.7
1 地球温暖化への配慮		ライフスタイルCO2排出率が一般的な建物(参照値)と同等	3.7	0.33		-	3.7
2 地域環境への配慮			1.9	0.33		-	1.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33		-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制						
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20		-	
1	風向き及び室内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	